

全国森林計画（素案）新旧対照表

平成 2 5 年 7 月

全国森林計画

次期計画（案）	現行計画
まえがき 森林は、国土の保全、水源の涵養及び地球温暖化防止等の多面的機能の発揮を通じて、国民が安全で安心して暮らせる社会の実現や木材等の林産物の供給源として地域の経済活動と深く結びつく役割を果たしている。 とりわけ、我が国の森林は、戦後に積極的に造成された人工林を主体に蓄積が年々増加しており、今後多くの人工林が利用期を迎えつつある。これらの森林資源を有効に利用しながら森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るため、森林の現況、立地条件及び国民のニーズ等を踏まえつつ、施業方法を適切に選択し、計画的に森林の整備及び保全を進めながら、望ましい森林の姿を目指すこととする。 その際、全ての森林は多種多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与していることを踏まえ、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・立地条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されることが望ましい。 この計画においては、このような考え方に即し、森林の整備及び保全の目標、森林施業、林道の開設、森林の土地の保全、保安施設等に関する事項を明らかにすることとする。この計画の策定に当たっては、水系等の自然的条件を基本として、森林資源の類似性及び行政区界等の社会的経済的条件を勘案し、別紙のとおり44の広域流域を定め、広域流域ごとに森林の整備及び保全の目標を定めるとともに、この目標を実現するために必要な伐採立木材積、造林面積及び林道開設量等を定めることとした。この計画の計画期間は、平成26年4月1日から平成41年3月31日までである。 なお、地域森林計画及び国有林の地域別の森林計画の策定等に当たっては、こ	まえがき 森林は、国土の保全、水源の涵養及び地球温暖化防止等の多面的機能の発揮を通じて、国民が安全で安心して暮らせる社会の実現や木材等の林産物の供給源として地域の経済活動と深く結びつく役割を果たしている。 とりわけ、我が国の森林は、戦後に積極的に造成された人工林を主体に蓄積が年々増加しており、今後多くの人工林が利用期を迎えつつある。これらの森林資源を有効に利用しながら森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るため、森林の現況、立地条件及び国民のニーズ等を踏まえつつ、施業方法を適切に選択し、計画的に森林の整備及び保全を進めながら、望ましい森林の姿を目指すこととする。 その際、全ての森林は多種多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与していることを踏まえ、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・立地条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されることが望ましい。 この計画においては、このような考え方に即し、森林の整備及び保全の目標、森林施業、林道の開設、森林の土地の保全、保安施設等に関する事項を明らかにすることとする。この計画の策定に当たっては、水系等の自然的条件を基本として、森林資源の類似性及び行政区界等の社会的経済的条件を勘案し、別紙のとおり44の広域流域を定め、広域流域ごとに森林の整備及び保全の目標を定めるとともに、この目標を実現するために必要な伐採立木材積、造林面積及び林道開設量等を定めることとした。この計画の計画期間は、平成21年4月1日から平成36年3月31日までである。 なお、地域森林計画及び国有林の地域別の森林計画の策定等に当たっては、こ

の計画に即して、民有林・国有林間での一層の連携強化のもと、森林・林業等に関する諸施策が実施されること等を踏まえ、その効率的な実行の確保が図られるよう、配慮することとする。

I 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の基本的な考え方

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化も考慮しつつ、さらには放射性物質の影響等にも配慮し、適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進する。また、これらを踏まえ森林の状況を適確に把握するための森林資源のモニタリングの適切な実施や森林GISの効果的な活用を図ることとする。

具体的には、森林の有する諸機能が発揮される場である「流域」を基本的な単位として、森林の有する水源涵養、山地災害防止／土壌保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、生物多様性保全及び木材等生産の各機能を高度に発揮するための適切な森林施業の実施、林道等の路網の整備、委託を受けて行う森林施業又は経営の実施、保安林制度の適切な運用、山地災害の防止、森林病虫害や野生鳥獣害の被害対策などの森林の保護等に関する取組を推進する。森林の有するこれらの機能ごとの森林整備及び保全の基本方針を第1表のとおり定める。

2 森林の整備及び保全の目標

【略】

II 森林の整備に関する事項

の計画に即して、森林・林業等に関する諸施策の実施状況等を考慮し、民有林・国有林間での緊密な連絡調整を図りつつ、その効率的な実行の確保が図られるよう、配慮することとする。

I 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の基本的な考え方

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化も考慮しつつ、適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進するとともに、その状況を適確に把握するための森林資源のモニタリングの適切な実施や森林GISの効果的な活用を図ることとする。

具体的には、森林の有する諸機能が発揮される場である「流域」を基本的な単位として、森林の有する水源涵養、山地災害防止／土壌保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、生物多様性保全及び木材等生産の各機能を高度に発揮するための適切な森林施業の実施、林道等の路網の整備、委託を受けて行う森林施業又は経営の実施、保安林制度の適切な運用、山地災害の防止、森林病虫害や野生鳥獣害の被害対策などの森林の保護等に関する取組を推進する。森林の有するこれらの機能ごとの森林整備及び保全の基本方針を第1表のとおり定める。

2 森林の整備及び保全の目標

【略】

II 森林の整備に関する事項

1 森林の立木竹の伐採、造林並びに間伐及び保育に関する事項

森林施業を実施するに当たっては、Ⅰに定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」によるほか、次に掲げる基準によるものとする。

なお、保安林及び保安施設地区内の森林並びに森林法施行規則（昭和26年農林省令第54号）第10条に規定する森林については、保全対象又は受益対象を同じくする森林ごとに制限の目的の達成に必要な施業を行うこととする。

また、森林の生物多様性の保全の観点から、施業の実施に当たっては、野生生物の営巣、餌場、隠れ場として重要な空洞木や枯損木、目的樹種以外の樹種であっても目的樹種の成長を妨げないものについては、保残に努めることとする。

（1）立木竹の伐採（間伐を除く。）

【略】

（2）間伐

【略】

（3）造林

造林については、裸地状態を早期に解消して公益的機能の維持を図るため、更新すべき期間内に造林を行うものとし、その方法については、気候、地形、土壌等の自然的条件に応じて、人工造林又は天然更新によるものとする。特に、伐採後に適確な更新が図られていない伐採跡地については、それぞれの森林の状況に応じた方法により早急な更新を図ることとする。なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林における造林の方法は、人工植栽によることとする。

また、Ⅰの2に定める「森林の整備及び保全の目標」の実現を図るため、計画期間中の造林面積を第3表（20頁参照）のとおり計画する。

ア 人工造林

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や多面的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林において行うこととする。

人工造林に当たっては、適地適木を旨とし、郷土樹種も考慮に入れて、気

1 森林の立木竹の伐採、造林並びに間伐及び保育に関する事項

森林施業を実施するに当たっては、Ⅰに定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」によるほか、次に掲げる基準によるものとする。

なお、保安林及び保安施設地区内の森林並びに森林法施行規則（昭和26年農林省令第54号）第7条の2に規定する森林については、保全対象又は受益対象を同じくする森林ごとに制限の目的の達成に必要な施業を行うこととする。

また、森林の生物多様性の保全の観点から、施業の実施に当たっては、野生生物の営巣、餌場、隠れ場として重要な空洞木や枯損木、目的樹種以外の樹種であっても目的樹種の成長を妨げないものについては、保残に努めることとする。

（1）立木竹の伐採（間伐を除く。）

【略】

（2）間伐

【略】

（3）造林

造林については、裸地状態を早期に解消して公益的機能の維持を図るため、更新すべき期間内に造林を行うものとし、その方法については、気候、地形、土壌等の自然的条件に応じて、人工造林又は天然更新によるものとする。特に、伐採後に適確な更新が図られていない伐採跡地については、それぞれの森林の状況に応じた方法により早急な更新を図ることとする。なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林における造林の方法は、人工植栽によることとする。

また、Ⅰの2に定める「森林の整備及び保全の目標」の実現を図るため、計画期間中の造林面積を第3表（20頁参照）のとおり計画する。

ア 人工造林

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や多面的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林において行うこととする。

人工造林に当たっては、適地適木を旨とし、郷土樹種も考慮に入れて、気

候、地形、土壌等の自然的条件に適合するとともに、木材需要にも配慮した樹種を選定し、伐採が終了しておおむね2年以内に、効率的な施業実施の観点から、技術的合理性に基づき、現地の状況に応じた本数の苗木を植栽することとする。加えて、苗木の選定については、成長に優れたものの導入や少花粉スギ等の花粉症対策苗木の増加に努めることとする。

イ 天然更新

【略】

ウ その他

【略】

(4) 保育

【略】

2 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

【略】

3 林道等路網の開設その他林産物の搬出に関する事項

【略】

4 森林施業の合理化に関する事項

【略】

(1) 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施等

【略】

(2) 林業に従事する者の養成及び確保

【略】

候、地形、土壌等の自然的条件に適合するとともに、木材需要にも配慮した樹種を選定し、伐採が終了しておおむね2年以内に、効率的な施業実施の観点から、技術的合理性に基づき、現地の状況に応じた本数の苗木を植栽することとする。

イ 天然更新

【略】

ウ その他

【略】

(4) 保育

【略】

2 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

【略】

3 林道等路網の開設その他林産物の搬出に関する事項

【略】

4 森林施業の合理化に関する事項

【略】

(1) 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施等

【略】

(2) 林業に従事する者の養成及び確保

【略】

(3) 作業システムの高度化

【略】

(4) 流通・加工体制の整備

流通・加工体制の整備については、森林所有者等から木材製造業者等に至る木材の安定的取引関係の確立、施設・設備の大型化・高性能化等による流通・加工コストの低減や供給ロットの拡大を通じ、建築用材、パルプ・チップ用材や再生可能エネルギー等の多様な需要者のニーズに即した品質及び強度性能の明確な木材製品を安定的に供給し得る体制の整備に加え、森林に関する法令に照らし伐採に係る手続が適正になされたものであることや持続可能な森林経営が営まれている森林から生産されたものであることが証明された木材・木材製品の利用の普及について、関係者一体となって推進するよう努めるものとする。

(5) その他

都市住民を中心としたU J I ターン者等の定住の促進を図るため、山村地域の生活環境の整備に努めるものとする。また、自伐林家をはじめ地域住民やN P O等の多様な主体による森林資源の利活用等を促進するものとする。

Ⅲ 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

【略】

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の配備

【略】

(2) 特定保安林の整備

【略】

(3) 作業システムの高度化

【略】

(4) 流通・加工体制の整備

流通・加工体制の整備については、森林所有者等から木材製造業者等に至る木材の安定的取引関係の確立、施設・設備の大型化・高性能化等による流通・加工コストの低減や供給ロットの拡大を通じ、需要者のニーズに即した品質及び強度性能の明確な木材製品を安定的に供給し得る体制の整備に加え、森林に関する法令に照らし伐採に係る手続が適正になされたものであることや持続可能な森林経営が営まれている森林から生産されたものであることが証明された木材・木材製品の利用の普及について、関係者一体となって推進するよう努めるものとする。

(5) その他

都市住民を中心としたU J I ターン者等の定住の促進を図るため、山村地域の生活環境の整備に努めるものとする。

Ⅲ 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

【略】

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の配備

【略】

(2) 特定保安林の整備

【略】

(3) 治山事業

治山事業については、国民の安全・安心の確保を図る観点から、Iに定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、近年、頻発する集中豪雨や地震等による大規模災害の発生のおそれが高まっていることを踏まえ、山地災害による被害を未然に防止・軽減する事前防災・減災の考え方に立ち、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽及び本数調整伐等の保安林の整備並びに溪間工、山腹工及び地下水排除工等の治山施設の整備を、流域特性等に応じた形で計画的に推進することとする。特に、海岸防災林の整備にあたっては、東日本大震災の教訓を踏まえ、津波に対する被害の軽減効果等を考慮しつつ、防潮工、盛土工及び植栽工等を実施する。このような観点から、治山事業の計画量を第3表（20頁参照）のとおり計画する。

その中で、流域保全の観点からの関係機関との連携や地域における避難体制の整備などのソフト対策との連携を通じた効果的な治山対策を講ずる。その際、既存施設の有効活用を含む総合的なコスト縮減に努めるとともに、現地の実情を踏まえ、必要に応じて、在来種を用いた植栽・緑化や治山施設への魚道の設置など生物多様性の保全に努める。

(4) その他必要な事項

【略】

3 森林の保護等に関する事項

【略】

IV 森林の保健機能の増進に関する事項

【略】

(3) 治山事業

治山事業については、国民の安全・安心の確保を図る観点から、Iに定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽及び本数調整伐等の保安林の整備並びに溪間工、山腹工及び地下水排除工等の治山施設の整備を、流域特性等に応じた形で計画的に推進することとし、治山事業の計画量を第3表（20頁参照）のとおり計画する。

その中で、流域保全の観点からの関係機関が連携した取組や地域における避難体制の整備などのソフト対策との連携を通じ、山地災害の減災に向け、事業実施等の効果的な対策を講ずる。その際、既存施設の有効活用を含む総合的なコスト縮減に努めるとともに、現地の実情を踏まえ、必要に応じて、在来種による緑化や治山施設への魚道の設置など生物多様性の保全に努める。

(4) その他必要な事項

【略】

3 森林の保護等に関する事項

【略】

IV 森林の保健機能の増進に関する事項

【略】

1 保健機能森林の設定の方針 【略】	1 保健機能森林の設定の方針 【略】
2 保健機能森林の整備の方針 【略】	2 保健機能森林の整備の方針 【略】
3 その他必要な事項 【略】	3 その他必要な事項 【略】

次期計画（案）					現行計画				
第1表 森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針 【略】					第1表 森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針 【略】				
第2表 森林の整備及び保全の目標									

相 模 川	<u>84</u>	<u>82</u>	<u>9</u>	<u>15</u>	<u>109</u>	<u>105</u>	<u>216</u>	<u>234</u>
富 士 川	<u>283</u>	<u>277</u>	<u>16</u>	<u>34</u>	<u>308</u>	<u>296</u>	<u>194</u>	<u>209</u>
天 竜 川	<u>239</u>	<u>234</u>	<u>9</u>	<u>17</u>	<u>213</u>	<u>205</u>	<u>203</u>	<u>219</u>
神通・庄川	<u>154</u>	<u>150</u>	<u>11</u>	<u>23</u>	<u>428</u>	<u>411</u>	<u>160</u>	<u>173</u>
九 頭 竜 川	<u>190</u>	<u>186</u>	<u>5</u>	<u>24</u>	<u>316</u>	<u>304</u>	<u>214</u>	<u>231</u>
木 曾 川	<u>483</u>	<u>473</u>	<u>14</u>	<u>30</u>	<u>419</u>	<u>403</u>	<u>210</u>	<u>226</u>
由 良 川	<u>105</u>	<u>103</u>	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>166</u>	<u>160</u>	<u>196</u>	<u>212</u>
淀 川	<u>242</u>	<u>237</u>	<u>8</u>	<u>14</u>	<u>280</u>	<u>269</u>	<u>196</u>	<u>211</u>
宮 川	<u>149</u>	<u>145</u>	<u>0</u>	<u>2</u>	<u>98</u>	<u>94</u>	<u>192</u>	<u>208</u>
熊 野 川	<u>260</u>	<u>254</u>	<u>2</u>	<u>7</u>	<u>172</u>	<u>165</u>	<u>264</u>	<u>285</u>
紀 ノ 川	<u>144</u>	<u>141</u>	<u>4</u>	<u>7</u>	<u>83</u>	<u>80</u>	<u>290</u>	<u>313</u>
加 古 川	<u>147</u>	<u>144</u>	<u>2</u>	<u>7</u>	<u>235</u>	<u>226</u>	<u>189</u>	<u>204</u>
高梁・吉井川	<u>220</u>	<u>215</u>	<u>5</u>	<u>13</u>	<u>289</u>	<u>278</u>	<u>159</u>	<u>172</u>
円山・千代川	<u>234</u>	<u>229</u>	<u>2</u>	<u>10</u>	<u>199</u>	<u>192</u>	<u>223</u>	<u>241</u>
江 の 川	<u>241</u>	<u>236</u>	<u>7</u>	<u>23</u>	<u>361</u>	<u>347</u>	<u>228</u>	<u>246</u>
芦田・佐波川	<u>242</u>	<u>234</u>	<u>10</u>	<u>19</u>	<u>420</u>	<u>399</u>	<u>215</u>	<u>233</u>
高 津 川	<u>107</u>	<u>107</u>	<u>3</u>	<u>7</u>	<u>153</u>	<u>150</u>	<u>258</u>	<u>279</u>
重信・肱川	<u>185</u>	<u>181</u>	<u>2</u>	<u>7</u>	<u>169</u>	<u>162</u>	<u>214</u>	<u>231</u>
吉野・仁淀川	<u>463</u>	<u>453</u>	<u>8</u>	<u>16</u>	<u>238</u>	<u>229</u>	<u>313</u>	<u>338</u>
四 万 十 川	<u>212</u>	<u>207</u>	<u>2</u>	<u>8</u>	<u>121</u>	<u>116</u>	<u>256</u>	<u>277</u>
遠賀・大野川	<u>261</u>	<u>256</u>	<u>2</u>	<u>7</u>	<u>198</u>	<u>190</u>	<u>230</u>	<u>248</u>
筑 後 川	<u>230</u>	<u>225</u>	<u>2</u>	<u>6</u>	<u>94</u>	<u>90</u>	<u>305</u>	<u>329</u>
本 明 川	<u>106</u>	<u>104</u>	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>135</u>	<u>130</u>	<u>204</u>	<u>220</u>
菊池・球磨川	<u>293</u>	<u>286</u>	<u>2</u>	<u>22</u>	<u>168</u>	<u>162</u>	<u>288</u>	<u>311</u>
大 淀 川	<u>356</u>	<u>350</u>	<u>4</u>	<u>21</u>	<u>230</u>	<u>218</u>	<u>268</u>	<u>289</u>
川内・肝属川	<u>295</u>	<u>289</u>	<u>11</u>	<u>36</u>	<u>278</u>	<u>268</u>	<u>258</u>	<u>278</u>
沖 縄	<u>12</u>	<u>11</u>	<u>8</u>	<u>14</u>	<u>85</u>	<u>82</u>	<u>128</u>	<u>138</u>

注：現況については、平成24年3月31日現在の数値である。

第2表 森林の整備及び保全の目標

(単位 面積：千ha 蓄積：m³/ha)

広 域 流 域	育成単層林面積		育成複層林面積		天然生林面積		森林蓄積(ha当り)	
	現 況	計画期末	現 況	計画期末	現 況	計画期末	現 況	計画期末
全 国	10,312	10,163	955	1,625	13,830	13,309	177	208
天 塩 川	225	222	135	165	575	549	100	116
石 狩 川	290	289	133	172	740	704	124	137
網走・湧別川	276	269	105	136	391	366	161	185
十勝・釧路川	319	314	129	203	802	734	145	162
沙 流 川	135	133	67	84	364	349	134	147
渡島・尻別川	207	213	49	70	597	572	107	127
岩 木 川	122	120	18	33	185	171	168	182
馬 淵 川	236	235	35	49	225	213	183	208
閉 伊 川	188	188	12	25	267	255	184	223
北 上 川	367	367	21	42	387	367	190	222
米代・雄物川	408	391	12	50	420	399	184	227
最 上 川	184	176	3	34	480	458	140	168
阿 武 隈 川	298	290	18	50	327	304	183	216
阿 賀 野 川	139	137	17	42	590	568	130	157
信 濃 川	334	329	14	32	805	793	145	178
那 珂 川	185	183	5	14	135	128	204	238
利 根 川	447	441	30	55	576	557	194	226
相 模 川	86	84	6	10	110	109	202	239
富 士 川	283	273	16	33	308	302	175	202
天 竜 川	240	234	8	18	209	205	177	205
神通・庄川	153	146	11	22	430	426	149	172
九 頭 竜 川	190	177	5	25	316	310	196	242
木 曾 川	486	479	13	29	422	413	194	225
由 良 川	105	105	1	3	167	164	182	213
淀 川	241	241	8	12	283	279	184	211
宮 川	149	147	0	2	98	97	185	203
熊 野 川	262	261	1	7	169	164	252	290
紀 ノ 川	145	142	4	6	83	82	277	318

加古川	<u>147</u>	<u>144</u>	<u>2</u>	<u>7</u>	<u>236</u>	<u>233</u>	<u>175</u>	<u>212</u>
高梁・吉井川	<u>219</u>	<u>219</u>	<u>5</u>	<u>12</u>	<u>291</u>	<u>283</u>	<u>155</u>	<u>186</u>
円山・千代川	<u>233</u>	<u>230</u>	<u>2</u>	<u>10</u>	<u>199</u>	<u>194</u>	<u>205</u>	<u>250</u>
江の川	<u>243</u>	<u>237</u>	<u>7</u>	<u>23</u>	<u>360</u>	<u>351</u>	<u>179</u>	<u>203</u>
芦田・佐波川	<u>226</u>	<u>227</u>	<u>10</u>	<u>17</u>	<u>412</u>	<u>405</u>	<u>200</u>	<u>243</u>
高津川	<u>121</u>	<u>119</u>	<u>3</u>	<u>7</u>	<u>164</u>	<u>161</u>	<u>217</u>	<u>275</u>
重信・肱川	<u>186</u>	<u>185</u>	<u>2</u>	<u>7</u>	<u>168</u>	<u>164</u>	<u>192</u>	<u>229</u>
吉野・仁淀川	<u>462</u>	<u>459</u>	<u>7</u>	<u>15</u>	<u>239</u>	<u>233</u>	<u>232</u>	<u>280</u>
四万十川	<u>212</u>	<u>212</u>	<u>3</u>	<u>8</u>	<u>121</u>	<u>115</u>	<u>199</u>	<u>250</u>
遠賀・大野川	<u>263</u>	<u>264</u>	<u>2</u>	<u>7</u>	<u>196</u>	<u>189</u>	<u>211</u>	<u>276</u>
筑後川	<u>231</u>	<u>231</u>	<u>2</u>	<u>6</u>	<u>93</u>	<u>87</u>	<u>280</u>	<u>377</u>
本明川	<u>105</u>	<u>105</u>	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>137</u>	<u>134</u>	<u>189</u>	<u>241</u>
菊池・球磨川	<u>288</u>	<u>279</u>	<u>10</u>	<u>23</u>	<u>168</u>	<u>163</u>	<u>265</u>	<u>311</u>
大淀川	<u>363</u>	<u>354</u>	<u>4</u>	<u>22</u>	<u>223</u>	<u>212</u>	<u>256</u>	<u>275</u>
川内・肝属川	<u>303</u>	<u>300</u>	<u>12</u>	<u>27</u>	<u>275</u>	<u>262</u>	<u>208</u>	<u>246</u>
沖縄	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>8</u>	<u>8</u>	<u>85</u>	<u>85</u>	<u>124</u>	<u>131</u>

注：現況については、平成19年3月31日現在の数値である。

第3表 計 画 量

(単位 材積：万m³ 開設置量：千km 面積：千ha 地区数：百地区)

広域流域	伐採立木材積			造林面積		林道開設置量	保安林面積				治山事業施行地区数	間伐面積 (参考)
	総 数	主 伐	間 伐	人 工 造 林	天 然 更 新		総 数	水源涵養の ための保安林	災害防備の ための保安林	保健 風政の保存 等のための保安林		
全 国	<u>79,961</u>	<u>36,184</u>	<u>43,777</u>	<u>944</u>	<u>889</u>	<u>89.9</u>	<u>12,951.7</u>	<u>9,772.8</u>	<u>3,123.3</u>	<u>863.0</u>	<u>341.5</u>	<u>7,281</u>
天 塩 川	<u>1,021</u>	<u>358</u>	<u>662</u>	<u>20</u>	<u>40</u>	<u>2.9</u>	<u>618.8</u>	<u>410.6</u>	<u>207.5</u>	<u>22.9</u>	<u>5.3</u>	<u>217</u>
石 狩 川	<u>1,619</u>	<u>763</u>	<u>856</u>	<u>32</u>	<u>50</u>	<u>4.4</u>	<u>890.8</u>	<u>834.5</u>	<u>46.6</u>	<u>64.2</u>	<u>7.3</u>	<u>222</u>
網走・湧別川	<u>2,213</u>	<u>1,222</u>	<u>991</u>	<u>41</u>	<u>46</u>	<u>3.3</u>	<u>537.5</u>	<u>350.0</u>	<u>179.8</u>	<u>45.8</u>	<u>4.0</u>	<u>215</u>
十勝・釧路川	<u>2,363</u>	<u>1,084</u>	<u>1,279</u>	<u>53</u>	<u>76</u>	<u>4.2</u>	<u>850.5</u>	<u>566.0</u>	<u>281.6</u>	<u>38.5</u>	<u>8.2</u>	<u>275</u>

沙 流 川	<u>792</u>	<u>319</u>	<u>473</u>	<u>17</u>	<u>34</u>	<u>1.8</u>	<u>425.1</u>	<u>351.0</u>	<u>73.8</u>	<u>15.9</u>	<u>4.4</u>	<u>119</u>
渡島・尻別川	<u>1,249</u>	<u>463</u>	<u>786</u>	<u>29</u>	<u>30</u>	<u>2.2</u>	<u>556.9</u>	<u>337.8</u>	<u>221.9</u>	<u>46.6</u>	<u>7.6</u>	<u>231</u>
岩 木 川	<u>1,078</u>	<u>476</u>	<u>602</u>	<u>15</u>	<u>19</u>	<u>1.7</u>	<u>224.9</u>	<u>184.0</u>	<u>39.2</u>	<u>15.8</u>	<u>4.2</u>	<u>108</u>
馬 淵 川	<u>1,963</u>	<u>994</u>	<u>969</u>	<u>29</u>	<u>24</u>	<u>2.6</u>	<u>225.8</u>	<u>200.4</u>	<u>25.8</u>	<u>16.0</u>	<u>4.7</u>	<u>170</u>
閉 伊 川	<u>1,852</u>	<u>1,016</u>	<u>836</u>	<u>19</u>	<u>35</u>	<u>1.7</u>	<u>158.4</u>	<u>123.3</u>	<u>30.6</u>	<u>8.5</u>	<u>3.6</u>	<u>145</u>
北 上 川	<u>2,968</u>	<u>1,512</u>	<u>1,456</u>	<u>39</u>	<u>31</u>	<u>3.5</u>	<u>407.2</u>	<u>362.1</u>	<u>44.5</u>	<u>19.2</u>	<u>9.4</u>	<u>237</u>
米代・雄物川	<u>4,008</u>	<u>2,056</u>	<u>1,952</u>	<u>39</u>	<u>42</u>	<u>3.3</u>	<u>471.5</u>	<u>406.6</u>	<u>68.7</u>	<u>34.4</u>	<u>10.0</u>	<u>291</u>
最 上 川	<u>1,728</u>	<u>1,013</u>	<u>715</u>	<u>26</u>	<u>36</u>	<u>1.5</u>	<u>417.1</u>	<u>322.3</u>	<u>111.3</u>	<u>22.8</u>	<u>5.2</u>	<u>120</u>
阿 武 隈 川	<u>2,731</u>	<u>1,446</u>	<u>1,285</u>	<u>38</u>	<u>43</u>	<u>2.4</u>	<u>286.7</u>	<u>238.8</u>	<u>45.9</u>	<u>14.3</u>	<u>9.3</u>	<u>159</u>
阿 賀 野 川	<u>1,149</u>	<u>580</u>	<u>569</u>	<u>10</u>	<u>34</u>	<u>1.3</u>	<u>466.6</u>	<u>356.2</u>	<u>112.4</u>	<u>8.1</u>	<u>7.6</u>	<u>64</u>
信 濃 川	<u>1,820</u>	<u>480</u>	<u>1,341</u>	<u>18</u>	<u>17</u>	<u>2.5</u>	<u>608.0</u>	<u>434.1</u>	<u>176.2</u>	<u>34.0</u>	<u>14.8</u>	<u>305</u>
那 珂 川	<u>1,764</u>	<u>790</u>	<u>974</u>	<u>21</u>	<u>11</u>	<u>1.7</u>	<u>144.3</u>	<u>125.3</u>	<u>17.5</u>	<u>7.2</u>	<u>4.2</u>	<u>108</u>
利 根 川	<u>3,038</u>	<u>1,060</u>	<u>1,978</u>	<u>31</u>	<u>28</u>	<u>3.1</u>	<u>540.6</u>	<u>414.1</u>	<u>122.0</u>	<u>52.3</u>	<u>20.2</u>	<u>290</u>
相 模 川	<u>474</u>	<u>124</u>	<u>350</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>0.7</u>	<u>107.1</u>	<u>68.3</u>	<u>47.6</u>	<u>12.6</u>	<u>4.4</u>	<u>63</u>
富 士 川	<u>1,548</u>	<u>727</u>	<u>821</u>	<u>24</u>	<u>13</u>	<u>2.2</u>	<u>298.9</u>	<u>236.9</u>	<u>60.7</u>	<u>28.8</u>	<u>11.6</u>	<u>174</u>
天 竜 川	<u>1,540</u>	<u>619</u>	<u>921</u>	<u>17</u>	<u>7</u>	<u>1.7</u>	<u>252.8</u>	<u>177.9</u>	<u>74.5</u>	<u>7.3</u>	<u>7.8</u>	<u>194</u>
神通・庄川	<u>940</u>	<u>378</u>	<u>562</u>	<u>6</u>	<u>14</u>	<u>1.3</u>	<u>392.8</u>	<u>226.4</u>	<u>170.6</u>	<u>27.2</u>	<u>8.9</u>	<u>99</u>
九 頭 竜 川	<u>1,338</u>	<u>494</u>	<u>844</u>	<u>14</u>	<u>28</u>	<u>1.4</u>	<u>207.3</u>	<u>174.6</u>	<u>28.6</u>	<u>31.0</u>	<u>7.8</u>	<u>142</u>
木 曽 川	<u>2,932</u>	<u>1,060</u>	<u>1,872</u>	<u>26</u>	<u>17</u>	<u>4.5</u>	<u>418.7</u>	<u>253.2</u>	<u>163.3</u>	<u>16.5</u>	<u>20.9</u>	<u>388</u>
由 良 川	<u>425</u>	<u>156</u>	<u>268</u>	<u>5</u>	<u>3</u>	<u>0.8</u>	<u>85.6</u>	<u>65.9</u>	<u>17.2</u>	<u>7.1</u>	<u>3.8</u>	<u>41</u>
淀 川	<u>968</u>	<u>394</u>	<u>574</u>	<u>17</u>	<u>5</u>	<u>1.8</u>	<u>185.5</u>	<u>103.3</u>	<u>78.5</u>	<u>34.1</u>	<u>10.6</u>	<u>121</u>
宮 川	<u>616</u>	<u>184</u>	<u>432</u>	<u>7</u>	<u>3</u>	<u>1.0</u>	<u>87.0</u>	<u>59.1</u>	<u>26.8</u>	<u>9.6</u>	<u>4.1</u>	<u>85</u>
熊 野 川	<u>1,759</u>	<u>595</u>	<u>1,165</u>	<u>19</u>	<u>4</u>	<u>2.0</u>	<u>179.6</u>	<u>142.6</u>	<u>35.6</u>	<u>7.9</u>	<u>6.1</u>	<u>174</u>
紀 ノ 川	<u>999</u>	<u>378</u>	<u>621</u>	<u>11</u>	<u>2</u>	<u>1.1</u>	<u>74.1</u>	<u>53.0</u>	<u>20.7</u>	<u>1.8</u>	<u>4.2</u>	<u>90</u>
加 古 川	<u>834</u>	<u>190</u>	<u>644</u>	<u>12</u>	<u>7</u>	<u>1.2</u>	<u>139.6</u>	<u>100.6</u>	<u>41.0</u>	<u>10.3</u>	<u>6.8</u>	<u>89</u>
高梁・吉井川	<u>1,772</u>	<u>788</u>	<u>984</u>	<u>19</u>	<u>13</u>	<u>1.8</u>	<u>194.9</u>	<u>141.1</u>	<u>50.8</u>	<u>15.4</u>	<u>9.6</u>	<u>123</u>
円山・千代川	<u>1,515</u>	<u>616</u>	<u>900</u>	<u>22</u>	<u>9</u>	<u>1.7</u>	<u>214.2</u>	<u>189.5</u>	<u>22.7</u>	<u>11.1</u>	<u>5.4</u>	<u>152</u>
江 の 川	<u>2,139</u>	<u>1,302</u>	<u>837</u>	<u>32</u>	<u>20</u>	<u>1.9</u>	<u>233.0</u>	<u>208.5</u>	<u>20.1</u>	<u>11.3</u>	<u>9.0</u>	<u>131</u>
芦田・佐波川	<u>1,823</u>	<u>897</u>	<u>925</u>	<u>20</u>	<u>13</u>	<u>1.9</u>	<u>260.3</u>	<u>138.7</u>	<u>106.2</u>	<u>29.5</u>	<u>9.8</u>	<u>110</u>
高 津 川	<u>898</u>	<u>523</u>	<u>375</u>	<u>10</u>	<u>8</u>	<u>0.9</u>	<u>99.1</u>	<u>80.9</u>	<u>16.7</u>	<u>4.1</u>	<u>3.8</u>	<u>49</u>
重信・肱川	<u>1,410</u>	<u>483</u>	<u>927</u>	<u>16</u>	<u>9</u>	<u>1.4</u>	<u>127.3</u>	<u>61.9</u>	<u>63.1</u>	<u>10.1</u>	<u>7.4</u>	<u>119</u>
吉野・仁淀川	<u>3,647</u>	<u>1,102</u>	<u>2,545</u>	<u>19</u>	<u>14</u>	<u>3.1</u>	<u>282.6</u>	<u>235.8</u>	<u>44.8</u>	<u>26.3</u>	<u>14.9</u>	<u>342</u>
四 万 十 川	<u>1,684</u>	<u>455</u>	<u>1,229</u>	<u>11</u>	<u>6</u>	<u>1.6</u>	<u>135.5</u>	<u>103.3</u>	<u>30.3</u>	<u>7.4</u>	<u>5.0</u>	<u>135</u>
遠賀・大野川	<u>2,364</u>	<u>1,063</u>	<u>1,301</u>	<u>23</u>	<u>23</u>	<u>2.0</u>	<u>184.2</u>	<u>148.0</u>	<u>34.0</u>	<u>16.2</u>	<u>9.0</u>	<u>168</u>

筑後川	2,343	1,023	1,320	19	7	1.7	151.6	121.9	33.0	13.1	9.9	202
本明川	627	144	483	6	3	0.8	74.4	38.0	32.1	11.0	4.1	82
菊池・球磨川	4,062	2,033	2,028	47	17	2.1	184.6	158.5	25.6	9.1	6.3	294
大淀川	4,670	2,793	1,877	42	15	2.8	298.4	253.4	40.6	15.5	9.1	254
川内・肝属川	3,257	2,015	1,242	19	28	2.4	211.9	183.1	25.0	15.5	9.8	179
沖縄	23	15	8	1	1	0.2	40.4	31.5	7.8	6.9	1.6	2

注1： 水源涵養^{かん}のための保安林とは、森林法（昭和26年法律第249号）第25条第1項第1号の目的、災害防備のための保安林とは、土砂の流出の防備、土砂の崩壊の防備などの同項第2号から第7号までの目的、保健、風致の保存等のための保安林とは、同項第8号から第11号までの目的を達成するために指定する保安林をいう。

2： 保安林面積の総数欄は、2以上の目的を達成するために指定する保安林があるため、内訳の合計に合致しない。

3： 治山事業とは、森林法第41条に規定する保安施設事業及び地すべり等防止法（昭和33年法律第30号）第51条第1項第2号に規定する地すべり地域又はばた山に関して同法第3条若しくは第4条の規定によって指定された地すべり防止区域又はばた山崩壊防止区域における地すべり防止工事又はばた山崩壊防止工事に関する事業をいう。

4： 治山事業施行地区数とは、治山事業を実施する箇所について、尾根や沢などの地形等により区分される森林の区域を単位としてとりまとめた上、計上したものである。

第3表 計 画 量

(単位材積：万m³ 開設量：千km 面積：千ha 地区数：百地区)

広域流域	伐採立木材積			造林面積		林道開設量	保安林面積				治山事業施行地区数	間伐面積 (参考)
	総数	主伐	間伐	人工林	天然更新		総数	水源涵養 ^{かん} のための保安林	災害防備のための保安林	保健、風致の保存等のための保安林		
全国	69,019	29,318	39,701	856	872	91.0	12,811.5	9,674.1	3,072.2	856.4	311.1	7,795
天塩川	739	251	488	16	44	2.9	619.1	410.1	204.5	22.8	5.2	151
石狩川	1,356	530	826	20	57	4.2	878.0	820.6	46.0	64.2	7.0	256
網走・湧別川	2,056	1,095	962	38	52	3.2	530.6	344.0	179.0	45.8	4.0	267
十勝・釧路川	2,224	1,053	1,171	42	92	4.2	849.5	565.4	280.4	38.4	7.8	304
沙流川	694	275	419	12	33	1.8	424.0	350.7	72.9	15.8	4.2	125
渡島・尻別川	962	318	644	22	35	2.3	554.1	336.1	220.8	46.3	7.3	197

岩 木 川	<u>970</u>	<u>407</u>	<u>563</u>	<u>13</u>	<u>20</u>	<u>1.5</u>	<u>224.4</u>	<u>183.7</u>	<u>39.0</u>	<u>15.8</u>	<u>4.1</u>	<u>126</u>
馬 淵 川	<u>1,743</u>	<u>837</u>	<u>906</u>	<u>26</u>	<u>23</u>	<u>2.4</u>	<u>225.4</u>	<u>200.3</u>	<u>25.0</u>	<u>16.0</u>	<u>4.2</u>	<u>193</u>
閉 伊 川	<u>1,644</u>	<u>883</u>	<u>760</u>	<u>17</u>	<u>30</u>	<u>1.7</u>	<u>158.0</u>	<u>123.3</u>	<u>30.2</u>	<u>8.5</u>	<u>3.1</u>	<u>143</u>
北 上 川	<u>2,492</u>	<u>1,147</u>	<u>1,345</u>	<u>33</u>	<u>28</u>	<u>3.4</u>	<u>401.8</u>	<u>366.7</u>	<u>44.0</u>	<u>19.2</u>	<u>7.5</u>	<u>277</u>
米代・雄物川	<u>3,484</u>	<u>1,689</u>	<u>1,795</u>	<u>41</u>	<u>38</u>	<u>3.2</u>	<u>468.4</u>	<u>406.0</u>	<u>65.6</u>	<u>34.5</u>	<u>9.8</u>	<u>349</u>
最 上 川	<u>1,460</u>	<u>810</u>	<u>650</u>	<u>20</u>	<u>34</u>	<u>1.4</u>	<u>415.6</u>	<u>321.5</u>	<u>110.5</u>	<u>22.6</u>	<u>4.6</u>	<u>126</u>
阿 武 隈 川	<u>2,480</u>	<u>1,348</u>	<u>1,132</u>	<u>35</u>	<u>40</u>	<u>2.4</u>	<u>284.5</u>	<u>237.7</u>	<u>44.7</u>	<u>14.4</u>	<u>7.8</u>	<u>206</u>
阿 賀 野 川	<u>978</u>	<u>476</u>	<u>502</u>	<u>9</u>	<u>31</u>	<u>1.3</u>	<u>460.1</u>	<u>350.1</u>	<u>109.3</u>	<u>8.8</u>	<u>6.3</u>	<u>77</u>
信 濃 川	<u>1,616</u>	<u>488</u>	<u>1,128</u>	<u>16</u>	<u>19</u>	<u>2.5</u>	<u>602.7</u>	<u>430.6</u>	<u>172.3</u>	<u>33.9</u>	<u>14.1</u>	<u>252</u>
那 珂 川	<u>1,553</u>	<u>635</u>	<u>918</u>	<u>18</u>	<u>10</u>	<u>1.6</u>	<u>144.1</u>	<u>125.1</u>	<u>17.2</u>	<u>7.3</u>	<u>4.0</u>	<u>156</u>
利 根 川	<u>2,600</u>	<u>810</u>	<u>1,790</u>	<u>26</u>	<u>27</u>	<u>3.2</u>	<u>528.6</u>	<u>406.4</u>	<u>117.9</u>	<u>52.2</u>	<u>19.4</u>	<u>322</u>
相 模 川	<u>448</u>	<u>121</u>	<u>327</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>0.7</u>	<u>104.9</u>	<u>66.5</u>	<u>47.2</u>	<u>12.6</u>	<u>4.2</u>	<u>63</u>
富 士 川	<u>1,313</u>	<u>629</u>	<u>683</u>	<u>26</u>	<u>13</u>	<u>2.2</u>	<u>297.0</u>	<u>232.8</u>	<u>59.1</u>	<u>28.7</u>	<u>9.4</u>	<u>159</u>
天 竜 川	<u>1,301</u>	<u>562</u>	<u>740</u>	<u>21</u>	<u>6</u>	<u>1.7</u>	<u>250.3</u>	<u>176.8</u>	<u>72.4</u>	<u>7.6</u>	<u>6.5</u>	<u>177</u>
神通・庄川	<u>958</u>	<u>378</u>	<u>580</u>	<u>8</u>	<u>16</u>	<u>1.4</u>	<u>393.1</u>	<u>226.3</u>	<u>171.0</u>	<u>27.3</u>	<u>8.3</u>	<u>111</u>
九 頭 竜 川	<u>1,184</u>	<u>395</u>	<u>789</u>	<u>12</u>	<u>20</u>	<u>1.4</u>	<u>203.5</u>	<u>172.5</u>	<u>26.9</u>	<u>30.9</u>	<u>7.3</u>	<u>137</u>
木 曽 川	<u>2,439</u>	<u>673</u>	<u>1,766</u>	<u>25</u>	<u>16</u>	<u>4.4</u>	<u>415.6</u>	<u>253.3</u>	<u>160.2</u>	<u>15.0</u>	<u>18.7</u>	<u>358</u>
由 良 川	<u>414</u>	<u>128</u>	<u>286</u>	<u>5</u>	<u>3</u>	<u>0.8</u>	<u>88.9</u>	<u>66.3</u>	<u>17.4</u>	<u>7.2</u>	<u>3.6</u>	<u>56</u>
淀 川	<u>780</u>	<u>287</u>	<u>493</u>	<u>12</u>	<u>4</u>	<u>1.7</u>	<u>182.4</u>	<u>100.0</u>	<u>77.3</u>	<u>30.8</u>	<u>9.2</u>	<u>109</u>
宮 川	<u>503</u>	<u>127</u>	<u>376</u>	<u>6</u>	<u>2</u>	<u>1.1</u>	<u>81.5</u>	<u>53.5</u>	<u>27.0</u>	<u>9.6</u>	<u>3.4</u>	<u>85</u>
熊 野 川	<u>1,596</u>	<u>539</u>	<u>1,057</u>	<u>19</u>	<u>4</u>	<u>2.0</u>	<u>177.1</u>	<u>144.2</u>	<u>34.5</u>	<u>7.7</u>	<u>4.9</u>	<u>184</u>
紀 ノ 川	<u>871</u>	<u>302</u>	<u>569</u>	<u>9</u>	<u>2</u>	<u>1.1</u>	<u>72.9</u>	<u>52.2</u>	<u>20.3</u>	<u>1.8</u>	<u>3.4</u>	<u>94</u>
加 古 川	<u>753</u>	<u>154</u>	<u>599</u>	<u>11</u>	<u>6</u>	<u>1.1</u>	<u>133.5</u>	<u>97.0</u>	<u>34.6</u>	<u>9.9</u>	<u>5.7</u>	<u>101</u>
高梁・吉井川	<u>1,411</u>	<u>547</u>	<u>864</u>	<u>16</u>	<u>13</u>	<u>1.7</u>	<u>193.0</u>	<u>139.4</u>	<u>50.8</u>	<u>15.4</u>	<u>7.9</u>	<u>147</u>
円山・千代川	<u>1,231</u>	<u>452</u>	<u>779</u>	<u>20</u>	<u>8</u>	<u>1.7</u>	<u>204.9</u>	<u>181.7</u>	<u>21.3</u>	<u>10.8</u>	<u>4.7</u>	<u>144</u>
江 の 川	<u>1,920</u>	<u>1,136</u>	<u>784</u>	<u>28</u>	<u>19</u>	<u>2.0</u>	<u>224.5</u>	<u>203.6</u>	<u>16.6</u>	<u>10.4</u>	<u>8.6</u>	<u>148</u>
芦田・佐波川	<u>1,685</u>	<u>681</u>	<u>1,004</u>	<u>17</u>	<u>11</u>	<u>1.9</u>	<u>244.9</u>	<u>127.4</u>	<u>102.2</u>	<u>29.2</u>	<u>8.6</u>	<u>145</u>
高 津 川	<u>842</u>	<u>459</u>	<u>383</u>	<u>10</u>	<u>8</u>	<u>0.8</u>	<u>112.0</u>	<u>87.7</u>	<u>22.5</u>	<u>4.4</u>	<u>3.7</u>	<u>58</u>
重信・肱川	<u>1,210</u>	<u>353</u>	<u>858</u>	<u>13</u>	<u>9</u>	<u>1.6</u>	<u>127.1</u>	<u>61.9</u>	<u>63.1</u>	<u>10.3</u>	<u>6.9</u>	<u>124</u>
吉野・仁淀川	<u>2,979</u>	<u>849</u>	<u>2,130</u>	<u>27</u>	<u>11</u>	<u>3.3</u>	<u>277.6</u>	<u>232.7</u>	<u>43.0</u>	<u>26.1</u>	<u>14.0</u>	<u>387</u>
四 万 十 川	<u>1,663</u>	<u>351</u>	<u>1,312</u>	<u>13</u>	<u>7</u>	<u>2.0</u>	<u>134.4</u>	<u>103.0</u>	<u>29.7</u>	<u>7.2</u>	<u>4.5</u>	<u>224</u>
遠賀・大野川	<u>1,979</u>	<u>773</u>	<u>1,206</u>	<u>20</u>	<u>19</u>	<u>2.4</u>	<u>182.6</u>	<u>147.7</u>	<u>32.9</u>	<u>16.2</u>	<u>8.7</u>	<u>179</u>
筑 後 川	<u>1,854</u>	<u>786</u>	<u>1,068</u>	<u>16</u>	<u>7</u>	<u>1.9</u>	<u>149.2</u>	<u>120.7</u>	<u>31.9</u>	<u>13.1</u>	<u>9.3</u>	<u>175</u>
本 明 川	<u>534</u>	<u>103</u>	<u>431</u>	<u>4</u>	<u>3</u>	<u>0.9</u>	<u>74.5</u>	<u>38.2</u>	<u>32.0</u>	<u>10.9</u>	<u>3.9</u>	<u>81</u>

菊池・球磨川	<u>3,293</u>	<u>1,523</u>	<u>1,771</u>	<u>39</u>	<u>15</u>	<u>2.3</u>	<u>180.4</u>	<u>156.7</u>	<u>23.3</u>	<u>9.1</u>	<u>6.2</u>	<u>289</u>
大 淀 川	<u>4,168</u>	<u>2,562</u>	<u>1,606</u>	<u>47</u>	<u>14</u>	<u>3.1</u>	<u>286.0</u>	<u>240.7</u>	<u>43.0</u>	<u>15.5</u>	<u>8.6</u>	<u>293</u>
川内・肝属川	<u>2,612</u>	<u>1,375</u>	<u>1,236</u>	<u>21</u>	<u>20</u>	<u>2.5</u>	<u>210.5</u>	<u>181.8</u>	<u>24.9</u>	<u>15.5</u>	<u>9.2</u>	<u>235</u>
沖 縄	<u>26</u>	<u>18</u>	<u>8</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>0.1</u>	<u>40.4</u>	<u>31.4</u>	<u>7.9</u>	<u>6.9</u>	<u>1.6</u>	<u>3</u>

注1： 水源涵養^{かん}のための保安林とは、森林法（昭和26年法律第249号）第25条第1項第1号の目的、災害防備のための保安林とは、土砂の流出の防備、土砂の崩壊の防備などの同項第2号から第7号までの目的、保健、風致の保存等のための保安林とは、同項第8号から第11号までの目的を達成するために指定する保安林をいう。

2： 保安林面積の総数欄は、2以上の目的を達成するために指定する保安林があるため、内訳の合計に合致しない。

3： 治山事業とは、森林法第41条に規定する保安施設事業及び地すべり等防止法（昭和33年法律第30号）第51条第1項第2号に規定する地すべり地域又はぼた山に関して同法第3条若しくは第4条の規定によって指定された地すべり防止区域又はぼた山崩壊防止区域における地すべり防止工事又はぼた山崩壊防止工事に関する事業をいう。

4： 治山事業施行地区数とは、治山事業を実施する箇所について、尾根や沢などの地形等により区分される森林の区域を単位としてとりまとめた上、計上したものである。

第4表 土壌を改良する必要がある森林、搬出の方法を特定する森林及び
森林の土地の保全に特に留意すべき森林の指定基準

【略】

第5表 伐採の方法を定める必要がある森林の指定基準

【略】

第6表 路網整備の水準

【略】

別紙 全国森林計画広域流域位置図

【略】

第4表 土壌を改良する必要がある森林、搬出の方法を特定する森林及び
森林の土地の保全に特に留意すべき森林の指定基準

【略】

第5表 伐採の方法を定める必要がある森林の指定基準

【略】

第6表 路網整備の水準

【略】

別紙 全国森林計画広域流域位置図

【略】